

「AIS・国際VHF機器展示・説明会」を七尾市で開催！ ～ 七尾湾周辺の漁業関係者約50名参加～



冒頭挨拶する北陸総合通信局
松澤無線通信部長



機器展示・説明会の様子

総務省北陸総合通信局（局長 吉武 久）は、平成28年10月18日（火）、七尾市湊町の石川県漁業協同組合ななか支所で「AIS・国際VHF機器展示・説明会」を開催しました。

AIS（船舶自動識別装置）は、船舶の位置、針路、速度等の情報を自動的に送受信するシステムで、これにより他船の針路を予測することができます。

また、国際VHF（船舶共通通信システム）は、全世界共通の無線電話であり、搭載している全ての船舶間で通信が可能となります。

これらを搭載することにより、船舶同士が衝突する海難事故を防止することができます。

北陸3県では、船舶数に比べAIS、国際VHFとも普及率が全国平均より低いため、今般、七尾湾周辺の漁業関係者を対象とした機器展示・説明会を、海上保安庁第九管区海上保安本部の後援を得て開催したものです。

機器展示・説明会では、初めに、北陸総合通信局鈴木航空海上課長から、「海難事故未然防止のための機器活用の取組み」として、漁船、プレジャーボート、遊漁船の小型船舶での海難事故が、全体の7割以上であること、また、自船にAIS、国際VHFを設置することで、船舶同士針路を予測したり、通話により意思疎通することで、海難事故防止が図られることなどを説明しました。

次に、AIS・国際VHFの無線設備を製造販売している各メーカー担当者から、展示してある機器の特徴、使用方法を順次説明しました。各機器メーカーのブースでは、機器を見せながらの説明に、漁業関係者は熱心に聞き入っていました。

北陸総合通信局では、今後も同様な機器展示・説明会を開催する予定です。



機器展示ブースの様子